

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成20年10月9日 (2008.10.9)

【公開番号】特開2007-58444(P2007-58444A)  
 【公開日】平成19年3月8日 (2007.3.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2007-009  
 【出願番号】特願2005-241560(P2005-241560)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/02 (2006.01)

G 0 6 F 17/22 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/02 3 6 0 G

G 0 6 F 17/22 5 2 0 S

【手続補正書】  
 【提出日】平成20年8月25日 (2008.8.25)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の単語を含んで構成される文字列を入力可能な情報処理装置における文字入力補助方法であって、

前記情報処理装置に入力され、確定された文字列について、該文字列に含まれる全ての単語を要素とする単語集合をメモリに登録する登録工程と、

前記情報処理装置に対して入力途中の文字列について、該文字列と完全一致もしくは部分一致する単語を含む単語集合を前記登録工程で登録された単語集合の中から取得する取得工程と、

前記取得工程で取得された単語集合に基づいて補完候補文字列を生成し、提示する生成工程とを備えることを特徴とする文字入力補助方法。

【請求項 2】

前記完全一致もしくは部分一致する単語を含む単語集合とは、前記入力途中の文字列に全部もしくは一部が含まれる単語を順序によらず含む単語集合であることを特徴とする請求項 1 に記載の文字入力補助方法。

【請求項 3】

表示画面上に所定のフィールドを表示するフィールド表示工程を更に備え、前記情報処理装置へ入力される文字列とは前記所定のフィールドへ入力される文字列であることを特徴とする請求項 1 に記載の文字入力補助方法。

【請求項 4】

前記生成工程は、前記取得工程で取得された単語集合に含まれる単語のうち、前記入力された文字列に完全一致もしくは部分一致する単語を該入力された文字列に従って並べ、残りの単語をその後ろに付加し、各単語の間に所定の文字記号を挿入することにより前記補完候補文字列を生成することを特徴とする請求項 1 に記載の文字入力補助方法。

【請求項 5】

前記取得工程で取得された単語集合において、前記入力された文字列と完全一致もしくは部分一致する単語とは別の、出現回数が所定数以上の単語を抽出する抽出工程と、

前記入力された文字列と完全一致もしくは部分一致する単語と、前記抽出工程で抽出さ

れた単語とで構成されるグループを提示する提示工程とを更に備え、

前記生成工程は、前記取得工程で取得された単語集合のうち、前記提示工程で提示されたグループの中から選択されたグループに含まれる全ての単語を含む単語集合を用いて前記補完候補文字列を生成することを特徴とする請求項 1 に記載の文字入力補助方法。

【請求項 6】

前記提示工程で提示されたグループより選択されたグループに含まれる全ての単語を含む単語集合の数が所定数を超えるか否かを判定する判定工程を更に備え、

前記生成工程は、前記判定工程により所定数以下であると判定された場合に、前記選択されたグループに含まれる全ての単語を含む単語集合を用いて前記補完候補文字列を生成することを特徴とする請求項 5 に記載の文字入力補助方法。

【請求項 7】

複数の単語を含んで構成される文字列を入力可能な情報処理装置であって、

前記情報処理装置に入力され、確定された文字列について、該文字列に含まれる全ての単語を要素とする単語集合をメモリに登録する登録手段と、

前記情報処理装置に対して入力途中の文字列について、該文字列と完全一致もしくは部分一致する単語を含む単語集合を前記登録手段で登録された単語集合の中から取得する取得手段と、

前記取得手段で取得された単語集合に基づいて補完候補文字列を生成し、提示する生成手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の方法をコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラム。

【請求項 9】

請求項 8 に記載のコンピュータプログラムを格納したコンピュータ可読媒体。